

InfinityLab クイックコネクティング取扱説明書

InfinityLab クイックコネクティングは手締めタイプのフィッティングであり、特別な工具は不要で最大1300 barまでの安定性を実現します。また、再利用性にも優れ繰り返し使用しても確実な接続が実現できます。

InfinityLab クイックコネクティングの種類とその部品番号は以下の通りです。

InfinityLab クイックコネクティング		
アセンブリ（一方の端部にクイックコネクティングを取り付けたキャピラリー、もう一方用として未固定 Swagelok フィッティングが付属）		
部品番号	キャピラリーサイズ（内径×長さ）	接続場所（推奨）
5067-5961	0.075 x 105 mm	プレヒーターとカラム間
5067-5957	0.12 x 105 mm	プレヒーターとカラム間
5067-5958	0.12 x 150 mm	プレヒーターとカラム間
5067-5959	0.12 x 220 mm	カラムと検出器間
5067-5960	0.12 x 280 mm	カラムと検出器間
アクセサリ類		
部品番号	説明	
5500-1174	ステンレスキャピラリー 0.075 x 105 mm、未固定 Swagelok フィッティング x 1	
5500-1173	ステンレスキャピラリー 0.12 x 105 mm、未固定 Swagelok フィッティング x 1	
5500-1172	ステンレスキャピラリー 0.12 x 150 mm、未固定 Swagelok フィッティング x 1	
5500-1171	ステンレスキャピラリー 0.12 x 220 mm、未固定 Swagelok フィッティング x 1	
5500-1170	ステンレスキャピラリー 0.12 x 280 mm、未固定 Swagelok フィッティング x 1	
5043-0924	フロントフェラル	
5067-5965	InfinityLab クイックコネクティング（別途キャピラリーとフェラルが必要）	

InfinityLab クイックコネクティングの取り付け手順



青色のナット部分を手で軽く回して締めていき止まったら増し締め不要です。

※増し締めは固着/故障の原因となります。



レバーを押し下げると、最大 1300 bar まで使用できます。

ポイント①: 接続前にキャピラリーが 5mm 程度前後に動くことを確認してください。

ポイント②: キャピラリー先端がフェラルから 5mm 程度出た状態でカラムに接続してください。

InfinityLab クイックコネクティングは、性能を失うことなく複数回再接続することができます。

使用後は、添加剤を含まない移動相で洗浄してください。

キャピラリーの交換手順

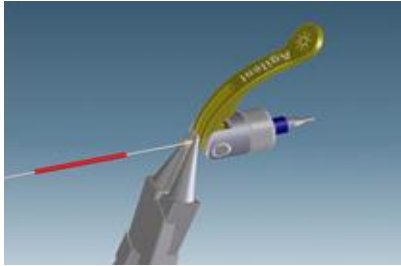
キャピラリーの損傷について

キャピラリー部分は金属なので繰り返し曲げると折れます。繰り返しの折り曲げはご遠慮ください。

必要なもの: 任意のステンレスキャピラリー(その種類は前ページをご参照ください。)

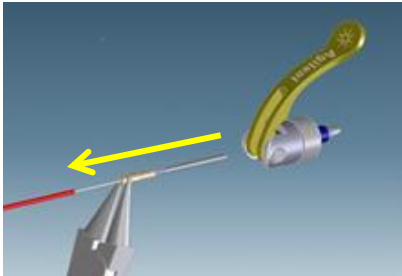
ペンチ(お客様でご用意をお願いいたします。)

1.



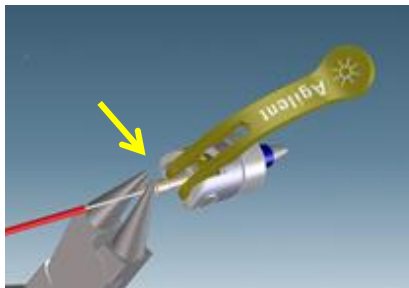
接続していたフィッティングを接続場所から外し、ペンチを用いて、キャピラリー先端部のプラスチックリング(ベージュ色)をしっかりとつかみます。

2.



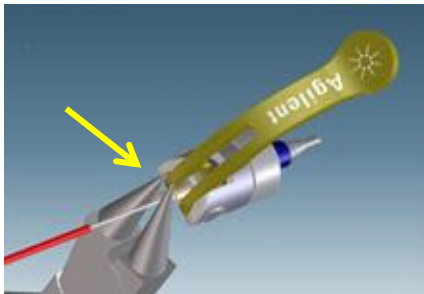
フィッティングからキャピラリーを引き出します。硬い場合がありますのでペンチを上下に揺らすような形で徐々に引き抜いてください。

3.



新しいキャピラリーをフィッティング内に挿入します。

4.

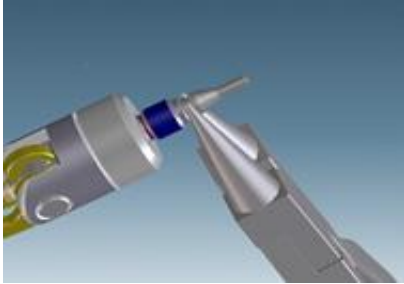


最終的な位置にカチッと収まるまで、プラスチックリングをフィッティングに押し込めてください。

フェラルの交換手順

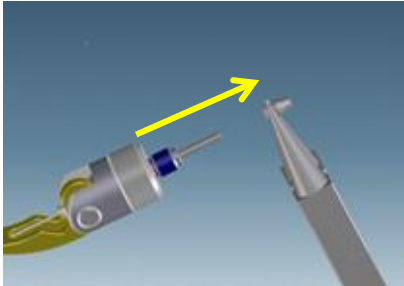
必要なもの：フロントフェラル（部品番号：5043-0924）
ペンチ（お客様でご用意をお願いいたします。）

1.



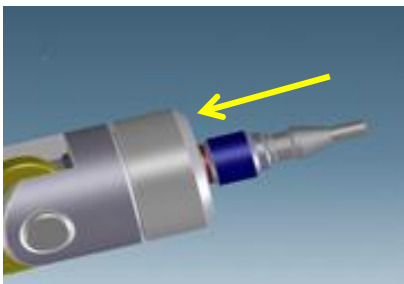
ペンチを使用してフロントフェラルをつかみ、
フィッティングから取り外します。

2.



フィッティングからフェラルを取り出します。

3.



新しいフェラルをフィッティングに通します。

4.



最終的な位置にセットするため、接続場所にフィッティングを
ねじ込んでください。

キャピラリーが固着し稼動しなくなった場合の対処方法

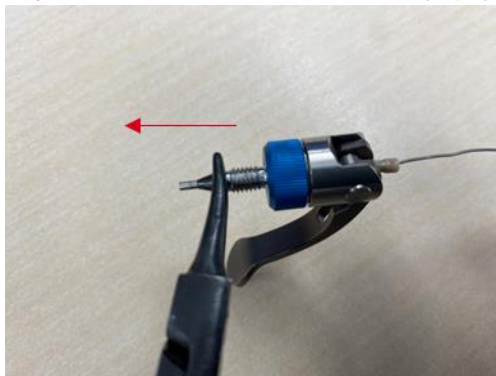
注: 取り付けの際、手締め段階で軽く締めていき、止まったところから 180 度以上増し締めすると、キャピラリーが可動しなくなります。

この固着状態になった場合は後述の方法でフェラルを交換してください。

固着状態の解消方法

青いナットを過剰に締めるとキャピラリーが可動しない固着状態になります。

固着状態のクイックコネクは、フェラルの根本部分を丸ペンチ等でつかみキャピラリーごと前方に引き抜いてください。



フェラル (Part Number: 5043-0924) を交換してキャピラリーの稼働を確認したら再利用可能です。

※固着状態のキャピラリーを交換する場合も同様に一度前方に引き抜きフェラルを外したのちにキャピラリーの交換をしてください。

本書は、Agilent InfinityLab Quick Connect Fittings Engineered for efficiency and ease of use を日本語化し、編集したものです。本文書に誤りが発見された場合、また、本文書の使用により付随的または間接的に生じる損害について一切免責とさせていただきます。

本資料に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。著作権法で許可されている場合を除き、書面による事前の許可なく、本マニュアルをいかなる方法(電子保存など)によっても、複製、翻案、翻訳することは禁じられています。

www.agilent.com/chem/jp

2022年4月改訂版

DE02720535